

あすなろだより9月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会



担当：1年3組、2年3組、6組

体育祭も終わり、次は1年生が大学訪問、2年生は修学旅行がありますね♪

今月のあすなろだよりは夏のボランティア報告の続きです。

○福祉体験教室 心身障害者センター（8/3・4）

★当日の内容

1日目の午前中は室内で車いす体験やアイマスク体験を行いました。午後は音訳か点訳かを選択して体験しました。

2日目の午前中は障害者スポーツ体験（車いすバスケットボール）を行いました。実際に乗ってみて練習してから試合を行いました。

★参加した生徒の感想

・車いす体験を行った。車いすに乗っていると目線が低くなり、直接に風を受けるので、押す側はゆっくり動く方が良いと思った。常に声かけが大切だと思った。

・1日目の音訳体験ではただ訳だけでなく、目の見えない人の立場になって話すことが大切だと思った。

・アイマスクで視覚がなくなると今まで正確に周りの景色を見ていたつもりでも、それは勘違いだったと気づいた。背中に壁があることで安心感を持つという不思議な感覚を体験した。

・電車の中などで目の見えない方がどの座席が空いているか分からずに困るという話を聞いて、声かけをして知らせる行動が必要だと考えた。

・目の見えない方は白杖を使用されている。その白杖を一直線に持ちあげていたら、「困っている」ということなのだを教えていただいた。その時に何かお手伝いができるよう声かけをしたい。

地域清掃のお知らせ

今年は11月17日（日）に行われます。昨年は12クラブ198名が参加しました。今年も多くの部活の参加をよろしくお願いいたします。



「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク

○佐伯区ぷちボラ体験スクール 佐伯区社会福祉センター（8/8～8/10）

★当日の内容

1日目はレクリエーションを行い、まごころ弁当についての説明を受けました。

2日目は各公民館に分かれてまごころ弁当を作り、地域の方に配達しました。

3日目は学習支援ボランティア体験でした。小学生と夏休みの宿題をして、子どもたちと一緒に遊びました。

★参加した生徒の感想

- ・私は多くの人と遊ぶということが得意ではなく、いつも一人だけ離れたところから見てしまうのですが、実際にやってみると、レクは一人ひとりが楽しめるものだと知りました。
- ・野外活動などで行うレクをして、レクの中でも子どもたちを集中させる方法や、声の大きさを変えたりと工夫を凝らしたりなど一つの遊びの中で色々なことが考えられていました。
- ・まごころ弁当はできるだけ柔らかく小さく食べやすくしてあり、たくさんの工夫がしてありました。
- ・まごころ弁当は届けるときに利用者も渡す側も笑顔で温かい気持ちになりました。
- ・遊んだ時に子どもたちの喜ぶ顔が見られてとても嬉しくて、楽しかったです。



○佐伯区ろう者支援ボランティア 佐伯区社会福祉センター（8/20）

★当日の内容

このボランティアでは、目の見えない方からお話を聞いた後、手話についての説明を受け、それから実際に自分たちも手話を体験しました。

★参加した生徒の感想

- ・今回、初めて手話に挑戦してみ、今まで手話は難しいものだと思っていたけど、楽しさもあるものだということを学んだ。楽しく手話が体験できるよう工夫してくださったことが分かり、とても楽しい時間が過ごせた。
- ・自分のやった手話が伝わった時は本当に嬉しくてもっと知りたいと思ったし、もっとできるようになりたいと思った。
- ・自分の持っている恥かしさや不安を捨てて、障がいを持つ方々はもちろん、一般の方だとしても困っていたら寄り添い支え、必要ならば助ける「勇気」を持てるようになればと思います。



○野球部が折り鶴をいただきました。

7月、夏の大会前に、老人ホーム千歳園の方が野球部へ折り鶴を折ってくださいました。地域の方に応援していただき、本当にありがたいですね。来月にはあすなろ会・美術部・書道部が千歳園で芸術教室のお手伝いをする予定です。

